

# 建物群でエネルギー利用の最適化を実現する

## 背景

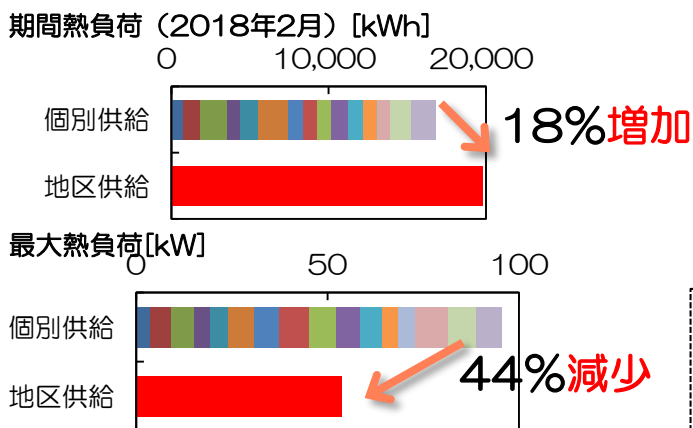
- 温室効果ガス低減のため、建築物の省エネルギー化は喫緊の課題です。
- これらの促進のためには、個々の建築物の省エネ化のみならず、複数の建物を連携させて省エネ化・イニシャルコストの削減を図ることが重要です。



津別町西町団地（計16戸）木質バイオマスによる熱供給施設

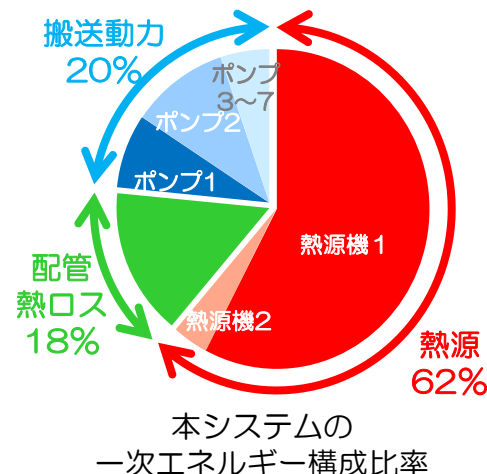
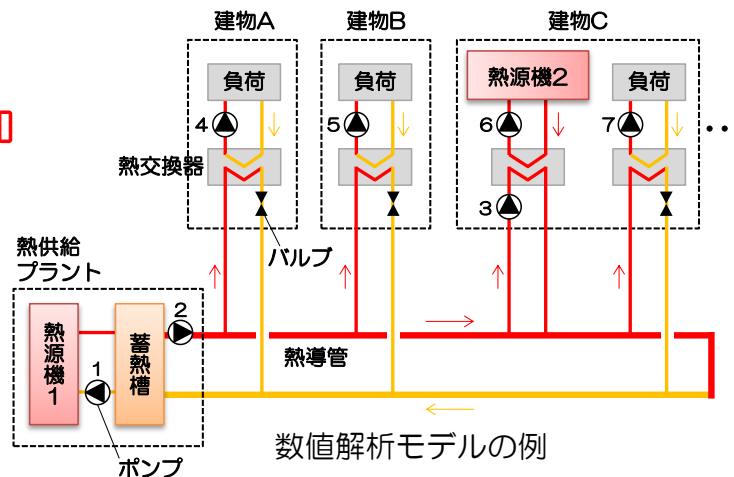
## 成果

### 1 エネルギー削減方法の試行（実測）



木質バイオマスなどの再生可能エネルギー活用のためには機器の低容量化が重要です。

### 2 建物群のエネルギー利用を考慮した解析手法の開発・最適手法の検討



建築群で熱供給することで、運用エネルギーは微増するが、暖房設備機器の低容量化（コストダウン）が可能

共同住宅の断熱性能、暖房設備の制御方法、熱源機やポンプの能力、熱導管の仕様、温水流量などをパラメータとしたエネルギー消費量や室温解析により、最適手法を提案

## 期待される効果

建物群のエネルギー利用に係わる最適な設計や運用改善、制御技術の開発などに活用されます。